

第71回全国高等学校バスケットボール選手権大会静岡県予選

準決勝	
試合日	2018年11月11日
会場	静岡県武道館
コート	Zコート
開始時間	11:20

TEAM A		TEAM B	
浜松開誠館 (西部)	97	47	駿河総合 (中部)
	33 - 9		
	16 - 15		
	22 - 6		
	26 - 17		
	OT		

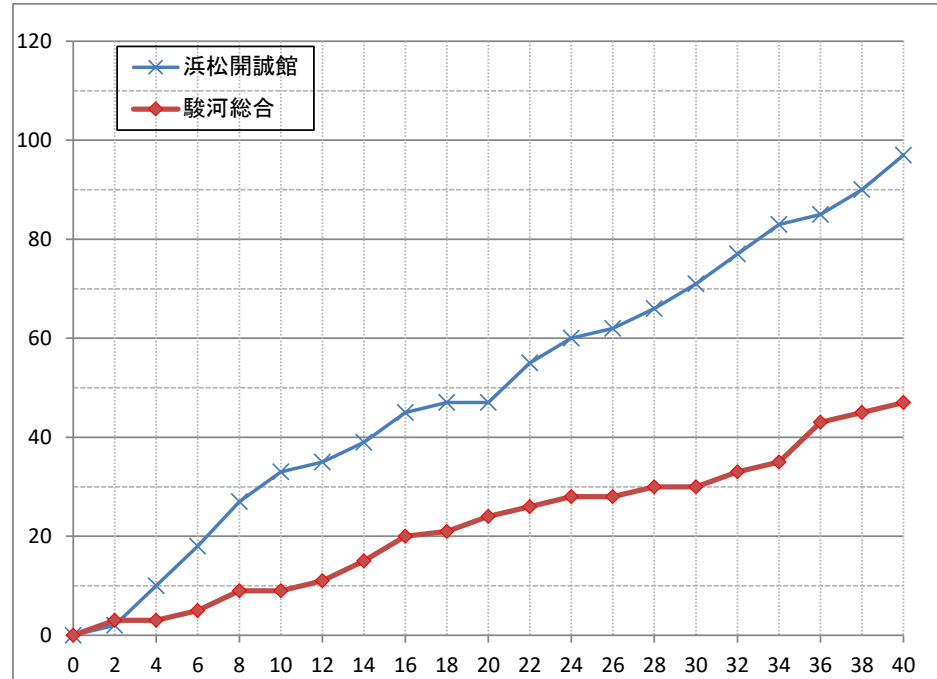
TEAM A 浜松開誠館 (西部)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	小幡 桃花	5	1	0	2	2
5	*	鈴木 侑	18	1	6	3	2
6	*	石牧 葵	22	2	6	4	1
7		伊藤 綾優花	3	1	0	0	1
8		奈須 梓咲	5	0	2	1	0
9	*	松岡 木乃美	17	1	6	2	4
10		高橋 杏	2	0	1	0	0
11	*	山本 涼菜	9	0	2	5	3
12		黒川 菜津奈	6	2	0	0	0
13		塩澤 小夏	1	0	0	1	1
14		樋口 沙彩	2	0	1	0	0
15	DNP	中田 絵美	0	0	0	0	0
16		大西 莉央	7	0	3	1	1
17	DNP	川延 美裕	0	0	0	0	0
18	DNP	清水 夢佳	0	0	0	0	0
19	DNP	高井 なおみ	0	0	0	0	0
20	DNP	古橋 杏	0	0	0	0	0
21		マッカラム 杏菜	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			97	8	27	19	15

TEAM B 駿河総合 (中部)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
7	*	野村 菜由	7	0	3	1	4
12	DNP	片桐 明日美	0	0	0	0	0
13		栗田 遥奈	0	0	0	0	3
17		土勢 佳穂	0	0	0	0	1
21		佐々木 聖愛	2	0	1	0	0
25	*	四電 恵子	0	0	0	0	2
30		堀池 つぐみ	0	0	0	0	1
32	*	永石 華萌	14	0	5	4	4
33	*	佐々木 萌	3	1	0	0	3
47	DNP	森谷 結愛	0	0	0	0	0
49		勝又 亜梨沙	3	0	0	3	5
51		小原 嘉佳	0	0	0	0	1
54	*	鈴木 美優	18	2	5	2	1
78	DNP	加茂 恵	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			47	3	14	10	25

【得点経過】



【戦評】

1PD 開誠館⑥石牧の2Pで試合がスタート。駿河も③佐々木の3Pで返すも、開誠館の1-2-2プレスに攻めあぐみ、リズムがつかめない。一方、開誠館は⑤鈴木⑥石牧⑨松岡の3Pやインサイドプレイ、ドライブ1on1などで着々と点数を重ねる。駿河は果敢にシュートまで行くもののリングに嫌われ、開誠館にリバウンドを完全に支配される。開誠館⑤鈴木⑥石牧⑨松岡⑩山本のインサイドプレイを上手く守れない駿河は、開始3分でチームファウル5つ。その後勢いよく攻める開誠館はフリースローも確実に決め点差を更に広げる。残り1分、開誠館は⑤鈴木⑥石牧をベンチに下げる余裕を見せ33-9で終了。

2PD 開誠館⑤鈴木⑥石牧のドライブでスタート。開誠館は、テンポの良いパスワークでチャンスを作り、1on1やインサイドプレー3Pで得点を重ねる。一方、駿河は54鈴木⑩山本の闘志あふれるプレーや、⑫永石のスピードを生かしたプレーでファウルを誘い得点を重ねていく。開誠館はシュートイン後の1-2-2プレスを続け、駿河に流れを渡さない。開誠館は交代をこまめに行い、更にDFプレッシャーをかける。駿河も⑨勝又の粘り強いゴール下、54鈴木⑫永石の3Pやスピードのあるドライブで攻めるが、開誠館のDFは固く前半49-24で終了。

3PD 開誠館は⑤鈴木⑥石牧⑨松岡⑩山本のインサイド、外角からのシュートやパワープレーなどオールラウンドにプレーを展開する。駿河もパスワークがよくなり速攻を決めるも、得点が伸びない。更に駿河は⑫永石⑨勝又のファウルが重なり苦しい時間が続く。一方、開誠館の勢いは止まらず71-30で終了。

4PD 開誠館は主力メンバーをベンチに下げる余裕を見せる。一方駿河もファウルトラブルからベンチメンバー主体の構成となる。そのような中、駿河は、54鈴木⑫の1on1、アウトサイドシュートで得点を重ね意地を見せる。開誠館⑫の連続3P、⑭のスピードある1on1で得点し盛り上がりを見せる。残り4分開誠館は3年生主体のメンバーに戻すと、再び開誠館優位の試合展開となり、97-47で開誠館が3年連続の全国大会への切符を手にした。

戦評(文責) 原田真樹(清水南高校) 記入者 大橋菜波(藤枝西高校)